

第 34 回 群馬県中学校空手道大会 要項

(兼 第 33 回全国中学生空手道選手権大会 予選)

- 1 主 催 群馬県空手道連盟、群馬県中学校空手道連盟
- 2 後 援 群馬県教育委員会、群馬県中学校体育連盟、群馬県武道振興会
- 3 日 時 令和7年5月18日(日)
- 4 会 場 ALSOK ぐんま武道館(大道場、第2・3道場)／第2・3会議室
- 5 種 目 《計 8 種目》
 - ◆ 男女 個人形
 - ◆ 男女 個人組手
 - ◆ 男女 団体形
 - ◆ 男女 団体組手
- 6 大会進行
 - 競技役員集合 8:00
 - 選手受付 8:30 ～ 9:00
 - 審判会議 8:45
 - 開 会 式 9:15
 - 競技開始 9:30
 - 閉 会 式 15:30
- 7 競技規定 (公財)全日本空手道連盟(以下「全空連」と記す)競技規定・審判規定および中学校空手道連盟申し合わせ事項による。
- 8 競技方法
 - (1) 形競技について
 - ① 形競技は、フラッグ制(トーナメント方式)と得点制の併用とする。
 - ② 競技方法は「形競技方法詳細」をもとに実施する。
 - ③ 競技者は演武しようとする形名を、競技前に予め記録席に申告すること。
 - (2) 組手競技について
 - ① 組手競技は、トーナメント方式とする。
 - ② 競技時間は、男女ともに1分30秒フルタイムとする。
 - ③ 競技は6ポイント差、同点の場合は全空連競技規定により勝敗を決する。
 - ④ 安全具を装着すること。(全空連検定品)
 - ・ ニューメンホーV～VII ・ 拳サポーター(赤・青)
 - ・ ボディープロテクター ・ セーフティカップ(男子のみ)
 - ・ インステップガード、シンガード
 (高体連検定品の場合は全空連検定品とダブルネームのもの)
 - ⑤ 団体の勝敗は、勝者数、ポイント数で決定する。
 - ⑥ 団体組手においては、1・2回戦は勝敗が決しても大将戦を行う。
3回戦以降は勝敗が決した時点で試合を終了する。
 - (3) 団体種目において、登録された選手内での変更は自由とする。
 - (4) 出場数が少ない(3名または3校以下)場合は、リーグ戦をおこなう。団体組手リーグ戦の順位は、チームとしての勝ち数、勝者数、総ポイント数、直接対決の勝者の順に決定する。
個人組手リーグ戦の順位は、試合の勝ち数、総ポイント数、直接対決の勝者

の順に決定する。

9 審判員 群馬県空手道連盟公認審判員

10 参加資格 以下の条件を満たす者。

- (1) 全空連及び群空連会員登録を済ませている者。
 - (2) 全空連・群空連公認の級位、全空連公認の段位を取得している者。
ただし、組手競技参加者は、3級以上とする。
 - (3) 県内の中学校単位もしくは道場単位の参加とする。
 - ① 拠点校方式（※注1）、地域合同部活動（※注2）の出場も認める。
 - ② 県外の中学校在籍者は、所属道場から参加すること。
 - ③ 県外の道場に在籍し、部活動・同好会活動がない県内中学校に在籍する者が、参加を希望する場合は、事前に所属都道府県空手道連盟を通じて、群馬県空手道連盟に参加申請を行うこと。
- ※注1・拠点校方式とは、在籍校に希望する部活動がない、希望する部活動はあるが専門的に指導できる顧問がいない場合に、参加を希望する生徒を一つの学校が受け入れる方式（文部科学省 HP）
- ※注2・地域合同部活動とは、自治体が部活動を学校単位から地域単位の取り組みにしたもの
- (4) 監督・コーチは、当該の中学校教員、または校長が認める指導者、もしくは道場が指名した者とする。中学校教員以外が監督・コーチとなる場合は、全空連に会員登録し、（公財）日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、又は県組手審判員以上の資格を有することを必須とする。
 - (5) 個人種目と団体種目は同じ団体から申し込むこと。中学校もしくは道場のいずれか一方でしかエントリーはできない。
 - (6) 上位大会への出場の意志が明確な者。

11 参加制限

- (1) 団体種目は、形・組手共に1団体につき男女各1チームとし、正選手3名・補員2名
- (2) で構成する。同一中学校または同一道場に在籍する選手で構成する。拠点校方式、地域合同部活動も同一の活動体であること。団体組手は、1チームの構成が正選手の過半数であればエントリーを認め、その場合は先詰めとする。
- (3) 個人種目については、参加選手の人数制限は設けない。
- (4) 個人種目に登録された選手の変更は認めない。

12 表彰 各種目とも、3位までとする。

13 全国大会出場権

（第33回全国中学生空手道選手権大会 8月15日～17日 長野県長野市ビッグハット）

- (1) 推薦出場及び、各種目上位者（上位校）は、全国中学生空手道選手権大会の参加資格を得る。出場数は上位大会要項の定める出場数とする。また、上位入賞者に推薦出場者が含まれる場合、決定戦を行う。

14 参加申込

- (1) 申込期日 4月24日（木）：午後8時までに、メール必着

(以降、一切受け付けません＝受信ボックスを開きません)

(2) 申込受付担当者

川部 敏和

大会申込メールアドレス：gkf.taikai@gmail.com

問合せメールアドレス：gunkuren@gmail.com

(3) 参加費

個人種目1種目につき 3,000円。

団体種目1種目につき 6,000円。

大会7日前までに下記口座に振り込むこと。

振込は必ず道場名等で送金し、道場名等の前に「2」と表示する。

【例：2 グンクレン】

振込手数料は申込者が負担する。

振込先 群馬銀行 太田支店

普通 2347835

群馬県空手道連盟 財務委員長 藍 正弘

15 参加上の注意

- (1) 参加選手の引率は、当該校の教職員・保護者、または指導者が行う。
- (2) 応急処置の費用は大会事務局で負担するが、その後の処置については各自で負担すること。(保険証持参のこと)
- (3) 参加団体(道場)の責任者は、選手をスポーツ安全保険に、必ず加入させること。
- (4) 参加選手は、頭髮・爪に注意し、清潔な空手着を着用すること。中学生らしい真摯な態度で競技に臨むこと。
- (5) 参加選手は、白布で作成した胸マーク(胸マークサンプルページ参照)を、左胸にしっかりつけること。つけていない選手は失格とする。
- (6) 上位大会への出場権を得た場合には、やむを得ない事情がある場合を除き、必ず出場すること。

16 その他

- (1) 申込書には団体責任者名(部活動、同好会においては学校長名、道場においては道場代表者名)を記入する。申込担当者名及び連絡先も必ず記入すること。
- (2) 参加の団体は、1名以上の競技補助員の協力をする事。
- (3) 大会終了後、全国中学生空手道選手権大会の説明をおこなうので、代表権を獲得した学校・個人の責任者は必ず出席すること。
- (4) 全国大会の実施要項が変更になった場合は、上記の規定を変更する場合がある。
- (5) 大会プログラムは配布しません。5月15日(木)を目安に、ホームページに掲載しますので、御活用ください。
- (6) 大会に関する緊急連絡はホームページを御確認ください。